

PROGRAM NOTE

6月4日（土）

HCJB日本語放送再開5周年記念スペシャル

2006年6月3日。待ちに待ったHCJB日本語放送が正式にオーストラリアから再開されることになりました。その初日に放送されたオーストラリア・レポート（尾崎祐二＆みちほ夫妻担当）の番組やシカゴ・レポート（クリスチーン担当）の番組から興味深いテーマを再編集しておきぎいただきます。オーストラリア先住民アボリジニ族の民族楽器の演奏、クリスチーンの日本印象記、日本語教師へのインタビュー、そして放送拠点をアリゾナへ移してからのシカゴとは違う現在の生活体験をお伝えします。



6月11日（土）

HCJB開局80周年記念大会スペシャル

HCJBが南米エクアドルから第一声を放ったのは1931年（昭和6年）した。今年はHCJBが開局して80周年にあたるため、米国コロラド州コロラドスプリングス市にあるHCJBグローバル国際本部では、開局80周年記念大会を5月16日から四日間にわたって開催しました。宣教師をはじめ関係者など、国境も年代の壁もこえて老若男女400名余が集まりました。これまでの長い歩みをふりかえり、ここまで守られ祝された神の導きに感謝するとともに、新世紀へ向かって世界規模のビジョンに立ち、新世代のパワーをフルに生かして限りない前進をつづける決意をあらたにすことができました。大会中の賛美をリードした長男の道夫は日本語放送がはじまったときはまだよちよち歩きでした。親から子へ子から孫へと果たされるべき尊い使命は継続されていきます。。



6月18日（土）

“Hello DXers”スペシャル パート①

HCJB開局80周年記念大会では、とくに長い間お互いに顔をあわせることができなかった懐かしい人々と会うことができ情報交換できました。そのひとりが「アンデスの声」時代に人気のあった“Hello DXers”的番組を担当してくださったロジャー・スツウビーさんでした。早速、時間をとってもらい、当時の思い出話から現在に至までの歩みをたっぷりと話してもらいました。HCJBでは技術部長、周波数アドバイザー、国際放送部長代理、フィールド・ディレクター代理として活躍されました。ピフォ送信所撤去、DRMの将来、祖父のアメリカ移住物語、キューバ訪問記、アンデス登山など興味ふかい話題がつぎつぎと出てきます。なお、今もハム無線家として活発に活動されています。



HCJB日本語放送

新住所：HCJB（日本語放送）1517 N WILMOT RD #298 TUCSON AZ 85712 USA

6月25日(土)

“Hello DXers”スペシャル パート②



HCJBオーストラリアの責任者であるデール・スタッガ氏にも今回会場ではじめてお会いしました。前任のアダムス氏とおなじく 親しみを感じさせる誠実な人柄でした。挨拶ではまず、日本のリスナーの聴取熱心にはいつも感心させられると前置きました上でクヌヌラ送信所の不手際については深くお詫びしたい。クヌヌラ送信所は現在拡張工事をおこなっており、アンテナの整備にも力をいれ、太陽黒点の活発化も期待されるので、今後の送信事情は著しく改善されるだろうと話しておられました。機会があればぜひ日本でリスナーの方々にお会いしたいと付け加えられました。

6月の番組もどうぞお楽しみください。

日本語放送担当

尾崎一夫



『サタデー・トーク』

きき手 尾崎一夫

毎週土曜日放送

6月 4日	HCJB日本語放送再開5周年記念スペシャル
6月 11日	HCJB開局80周年記念大会スペシャル
6月 18日	“Hello DXers”スペシャル パート①
6月 25日	“Hello DXers”スペシャル パート②

『バイブル・トーク』

東京淀橋教会 峯野龍弘主管牧師

毎週日曜日放送

6月 5日	
6月 12日	人生の道しるべ
6月 19日	(旧約聖書箴言ソロモン王の知恵より)
6月 26日	

放送後の番組は、ホームページ (<http://japanese.hcjb.org>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3形式)

放送時間：日本時間午前7時半～8時

(米国アリゾナ制作／オーストラリア送信)

放送周波数： 15525kHz 19mb